

Medical Technology News

臨床検査室新聞

2013年 4月
第46号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



「ミラげんびょう」 膠原病とは?



膠原病とは自己免疫疾患のひとつで、自分の身体を攻撃する免疫（自己抗体）を自ら作ってしまい、全身に多彩な症状を起こす疾患の総称です。

主な膠原病の種類と特徴的自己抗体を下表に示しました。膠原病は女性の患者さんが多いのも特徴ですが、結節性多発動脈炎は男女差がみられません。

膠原病を疑う症状は一定ではありませんが、発病初期は持続性の発熱、関節痛・筋肉痛、また皮膚に発疹がでたり、手の指先が白くなったりすることがあります。その他にも、疲労感が強くなったり、体重が減少したりすることもあります。

病名	慢性関節リウマチ	全身性エリテマトーデス	多発性筋炎 皮膚筋炎	強皮症	シェーグレン 症候群	結節性多発 動脈炎
特徴的自己抗体	リウマトイド因子 抗CCP抗体	抗dsDNA抗体 抗RNP抗体 抗Sm抗体 抗β ₂ 脂質抗体	抗Jo-1抗体 抗RNP抗体	抗Scl-70抗体 抗セントロマー 抗RNP抗体 抗核小体抗体	抗SS-A抗体 抗SS-B抗体 抗核小体抗体	(MPO-ANCA) 特異性は低い

LOOK 川崎病



川崎病は、小児科医の川崎富作先生が1967年に発表した急性熱性皮膚リンパ節症候群 (MCLS: Acute febrile mucocutaneous lymph node syndrome) のことです。乳幼児に見られる原因不明の急性熱性疾患で、5日以上続く発熱、結膜の充血、頸部のリンパ節腫脹、いちご舌、口唇の紅潮、皮膚の不定形発疹、咽頭炎、手足の硬性浮腫などの症状があり、全身の血管に炎症が起き、心臓にある冠動脈に動脈瘤ができることもある病気です。



ただ近年は免疫グロブリン大量療法がおこなわれるようになってから冠動脈におきる後遺症は減少してきています。

チェック! インフルエンザと風邪の違い



今シーズンもインフルエンザが猛威を振るい、幼稚園や保育園の卒園式に出席できないお子さんがいたようです。

一般的にインフルエンザは、風邪に症状がよく似ているといわれますが、実際はどうでしょうか？

	かぜ(かぜ症候群)	インフルエンザ
発熱	ないかもしくは微熱	38~40℃
主な症状	上気道症状、鼻汁など	発熱、筋肉痛、関節痛など
悪寒	軽い	強い
発病	ゆっくり	急激に発症
全身の痛み(筋肉痛、関節痛、腰痛など)	なし	強い
経過	短い長引くことあり	短い
合併症	少ない	気管支炎、肺炎など
発生状況	散发性	流行性

一方、インフルエンザの場合は悪寒、倦怠感、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、合わせてのどの痛み、鼻汁、せきなどの症状も見られます。これらの

編集後記

新年度を迎え、心新たにしています。検査室新聞も、早いもので46号を数えました。ここで一息、今年度から2か月に1回の発行とさせて頂くことにしました。毎回、頑張っておりましたので、今後ともご愛読のほどよろしくお願い致します。

検査の基本

インフルエンザウイルス検査は、迅速キットを使用しており、A型・B型の結果が同時に判ります(20分程度)。迅速キットは、発症後24~48時間では85~95%の高い割合で陽性と判定できますが、ウイルス量が少ない発症早期や発症数日後には検査結果が陰性になることがあります。

インフルエンザと風邪の違い

症状は通常2~3日続きますが、場合によっては5日を超えることもあります。さらに、高齢者や乳幼児では肺炎や脳炎などを合併することもあり、最悪の場合には死に至る事もあります。

早期に発見し、治療することで、症状をおさえたり、進行を食い止めることもできるので、初期症状を見逃さないようにしましょう!

ほと time

夢見る年頃

桜前線ももう少しで上陸!開花が待ち遠しいですね。しかし、一足先にスギ花粉前線は上陸しているようで、花粉アレルギーの方にはつらい季節です。いくつかのアレルギー性鼻炎を持つ僕が一番つらいのは小さい頃に触りすぎたせいか猫好きの猫アレルギーということ。そんな僕の夢は猫と一緒に布団で寝ることです。3才の少年ですけど・・・何か? (ニ・ボロリ)

検査の基本

インフルエンザウイルス検査は、迅速キットを使用しており、A型・B型の結果が同時に判ります(20分程度)。

迅速キットは、発症後24~48時間では85~95%の高い割合で陽性と判定できますが、ウイルス量が少ない発症早期や発症数日後には検査結果が陰性になることがあります。

下の写真は
右 A型・B型共に陰性例
左 インフルエンザ A型陽性例

